

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-135	17-065	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名（原題／訳）		
Fetal Alcohol Syndrome and Fetal Alcohol Spectrum Disorders. 胎児性アルコール症候群と胎児性アルコール・スペクトラム障害		
執筆者		
Denny L, Coles S, Blitz R		
掲載誌		
Am Fam Physician. 2017 Oct 15;96(8):515-522.		
キーワード		PMID
胎児性アルコール症候群、胎児性アルコール・スペクトラム障害、妊娠中の飲酒		29094891
要 旨		
<p>胎児性アルコール症候群（FAS）および胎児性アルコール・スペクトラム障害（FASD）は子宮内におけるアルコールの暴露により生じ、知的障害を引き起こす最も一般的な非遺伝性疾患である。FAS はいくつかの臨床症状により診断される。すなわち、出生前後の成長遅延、顔面異形、中枢神経系の機能不全、神経行動障害の 4 つを全て満たすことで診断される。一方、FASD は FAS だけでなく、母親の飲酒による FAS 以外の疾患を含めた広範囲な診断基準となっている。FAS/FASD の治療に関するエビデンスがないため適切な治療法がない。そのため、専門家の意見に基づいた様々な疾患の管理方法が掲げられている。例えば、併存した症状の管理、栄養管理、問題行動や教育の管理、ハビリテーション治療など様々な管理が必要とされている。</p> <p>アメリカ疾患管理予防センター（CDC）によると、妊娠中の飲酒者の割合は、2012 年 7.6% から 2015 年 10.2% に増加しており、このうち過度飲酒者（1 回に 4 杯以上の飲酒）は 1.4% から 3.1% に増加している。FAS の有病率は、アメリカでは子供 1,000 人当たり 0.3-0.8 人、世界では 1,000 人当たり 2.9 人と推定されている。一方、FASD の有病率はアメリカでは 1,000 人当たり 33.5 人、世界では 1,000 人当たり 22.8 人と推定されている。</p> <p>アメリカ疾患管理予防センターなどは、妊娠中は飲酒しないことを推奨しており、全ての女性に対し、妊娠前のカウンセリングや妊婦健診などで飲酒の有無についてスクリーニングすべきであるとしている。さらに、飲酒している場合は、禁酒を促すような介入が必要である。</p>		